

令和8年3月3日

保護者 様

印西市立牧の原小学校
校 長 寺島 光浩

「令和7年度 教育活動についてのアンケート」の結果について

日頃より本校の教育活動にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

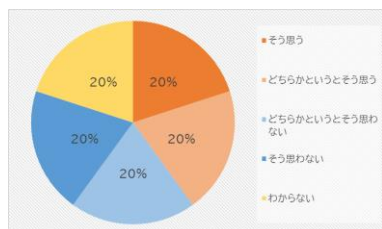
過日、保護者の皆様にご協力いただきました標記のアンケートにつきまして、結果や回答を下記のとおりとりまとめましたのでお知らせいたします。

また、お問い合わせ等ございましたら、教頭(石澤・内原)までご連絡ください。☎0476295560

記

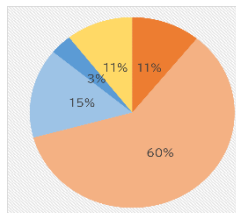
1 アンケート結果および考察(回答率:83.5%)

(1) グラフ・考察の見方



「そう思う」「どちらかというと思う」を肯定的回答㊥、「どちらかというと思わない」「そう思わない」を否定的回答㊦、「わからない」を㊧として表記しています。
前年比は㊥㊦㊧のポイント増減を示しています。

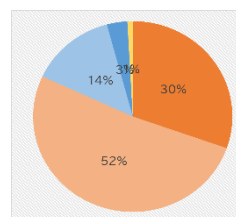
(2) 結果



質問1 あなたは学校の教育方針や教育目標をご存じですか。

< 前年比 ㊥-10 ㊦+7 ㊧+3 >

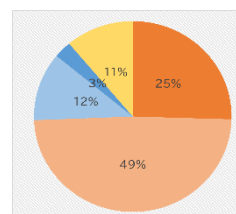
教育目標や教育方針のアナウンス不足により認識していただけていない方が多いことがわかります。今後は、積極的なアナウンスに努めてまいります。



質問2 お子さんは意欲的に学習に取り組んでいると思いますか。

< 前年比 ㊥-4 ㊦+4 ㊧±0 >

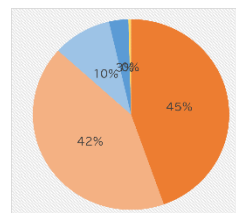
主体的・対話的で深い学びの実現に向け、今後も授業改善に取り組んでまいります。



質問3 お子さんは授業がわかりやすいと言っていますか。

< 前年比 ㊥-8 ㊦+5 ㊧+3 >

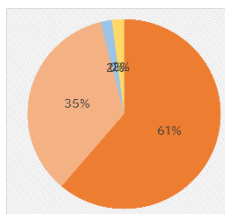
今後も一部教科担任制や授業交換制などの導入を進め、授業の質の向上に努めてまいります。



質問4 お子さんは家庭で宿題や課題等、家庭学習に取り組んでいますか。

< 前年比 ㊥-1 ㊦+1 ㊧±0 >

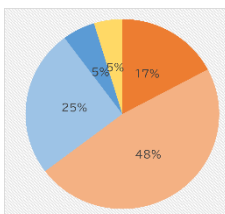
家庭学習の習慣化や定着にご理解ご協力いただきありがとうございます。今後も学校とご家庭で協力して学習意欲の向上に努めていけたらと思います。



質問5 お子さんは友だちを大切にしていると思いますか。

< 前年比 ㊦+4 ㊧-3 ㊨-1 >

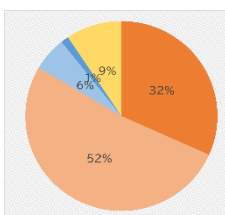
今後も様々な教育活動を通じて、自らを律し、他人とともに協調し、他人を思いやる心を育む教育を推進してまいります。



質問6 お子さんは進んであいさつをしていますか。

< 前年比 ㊦-5 ㊧+2 ㊨+3 >

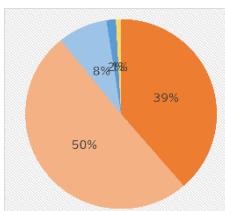
挨拶は人間関係において心を開き、心に近づくという重要な役割をもつと考えます。今後も地域・家庭・学校が一体となって身に付けさせていきたいです。



質問7 学校は豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。

< 前年比 ㊦±0 ㊧±0 ㊨±0 >

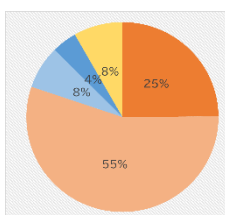
道徳科授業を要とし、人ならではの性質とも言える思いやりや共感、想像力や創造性を育む教育に努めてまいります。



質問8 お子さんは、健康に気を付けて生活していると思いますか。

< 前年比 ㊦+2 ㊧-3 ㊨+1 >

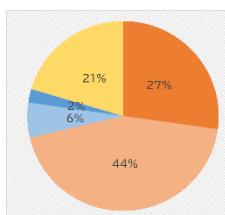
体育・保健・安全・食育の健康4領域については、学校生活全体を通じて適宜指導に努めてまいります。



質問9 学校は一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていると思いますか。

< 前年比 ㊦-3 ㊧+1 ㊨+2 >

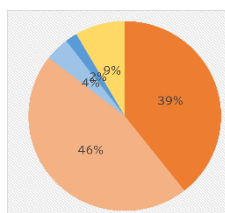
教職員の働き方改革をなお一層推進し、児童と向き合う時間を確保するとともに、一人一人の人格を大切にした指導・支援に努めてまいります。



質問10 学校では、いじめがあったとき、すぐに話を聞いて対応してくれると思いますか。

< 前年比 ㊦-9 ㊧+2 ㊨+7 >

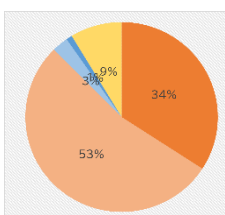
いじめについては、今後も全職員で未然防止、早期発見、早期対応に努め、有事の際には迅速に対応してまいります。



質問11 学習や生活で困ったことがあったとき、先生方はすぐに話を聞いて対応してくれると思いますか。

< 前年比 ㊦±0 ㊧-1 ㊨+1 >

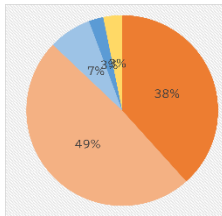
今後も定期的にアンケート調査や個別面談を実施するとともに、SOS の出し方教育に力を入れいつでも誰にでも相談しやすい人間関係づくりに努めます。



質問12 学校は、子どもたちの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。

< 前年比 ㊦+1 ㊧-4 ㊨+3 >

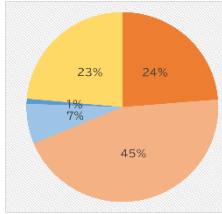
定期で実施する授業や活動だけでなく、日頃の状況に応じた指導を徹底し、児童の安全に対する自発的な意識や行動が向上するよう努めてまいります。



質問 13 学校の施設、設備は整っていると思いますか。

< 前年比 肯定 +5 否定 -4 ⑩ -1 >

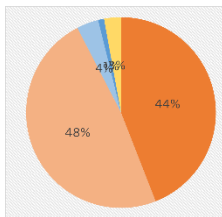
児童数の増加に伴う物理的環境の変化を考慮しながら、児童が安全で安心して学ぶことができる環境整備に今後も努めてまいります。



質問 14 学校は、市や地域の環境・施設・人材を教育活動に活かしていると思いますか。

< 前年比 肯定 -9 否定 +1 ⑩ +8 >

今後も近隣保育園や印旛明誠高等学校との交流の活性化を図り、外部団体を招いた行事も増やしていきたいと思います。



質問 15 学校は、お便りやメール、ホームページなどを適切に情報発信していると思いますか。

< 前年比 肯定 +1 否定 -3 ⑩ +2 >

スクリーンや連絡メール、学校ホームページなどを活用し、積極的かつ適切な情報発信に努めてまいります。

(3) 考察

全15項目で大きな変化が見られた4項目(質問1・3・10・14)について考察します。

質問1「あなたは学校の教育方針や教育目標をご存じですか。」に対し、肯定的評価が-10、否定的評価が+7、わからないが+3という結果でした。本校の現状として児童数・学級数・家庭数が急激に増加しています。また、県内外あらゆる地域から移り住み、多種多様な価値観をもった住民が学区には生活しています。そうした実態を念頭に、教育活動に関する工夫改善については早めに校内で検討を始め、地域・保護者の皆さまにお伝えするよう努めてまいります。今後もさらなる変化が予想されるため、学校の考えを丁寧にお伝えできるように努めます。

質問3「お子さんは授業がわかりやすいと言っていますか。」に対し、肯定的評価が-8、否定的評価が+5、わからないが+3という結果でした。お子さんは6時間の間授業を受けます。その授業がわかりやすくなければ、教室にいることが苦しくなってしまうと考えます。教師は授業のプロという意識をもち、今後も一部教科担任制や授業交換制などの導入を進め、授業の質の向上に努めてまいります。

質問10「学校では、いじめがあったとき、すぐに話を聞いて対応してくれると思いますか。」に対し、肯定的評価が-9、否定的評価が+2、わからないが+7という結果でした。本項目の肯定的評価についてはR3が67%、R4が69%、R5が86%、R6が80%、R7が71%と、他項目と比較すると著しい変化が見られる項目といえる。今後とも学校教育活動全体を通して、お互いを思いやり、尊重し、生命や人権を大切にする態度を育て、友情の尊さや信頼の醸成、生きることの素晴らしさや喜び、関わり合い方について指導していきたいと考えています。ご家庭において、お子様の様子や言動に何か気掛かりなところがありましたら、遠慮なく学校までご相談ください。

質問14「学校は市や地域の環境・施設・人材を教育活動に活かしていると思いますか。」に対し、肯定的評価が-9、否定的評価が+1、わからないが+8という結果でした。これまでも学区中学校との交流は継続して行っていましたが、最近では特に近隣保育園や印旛明誠高等学校との交流を活発に行っています。園とは、学校見学会、授業体験会、秋のテーマパーク、交流会、職員間の情報交換会などを行い、印旛明誠高校とは、文化祭見学(6年生)、学区探検(2年生)、吹奏楽部による演奏会(4・5・6年生)などを行いました。幼保・小・中・高どの世代にとっても異年齢と関わりをもつことは、立場が変われば役割が変わることを学

が絶好の機会だと思います。人間関係形成能力、社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応力などの伸長が期待できるこうした交流の機会を今後も大切にしようと考えています。また、その様子は本校HPで随時お知らせしています。ぜひご覧ください。

2 ご意見・ご感想(自由記述)に対する回答

本アンケートでいただきましたご意見・ご感想(自由記述)につきまして、順不同となりますが回答申し上げます。本回答の公開性を踏まえ、ご意見・ご感想の内容を一部省略・統合しましたことや、すべてのご意見・ご感想に対するものではないことをご了承くださいますようお願いいたします。

(1)連絡方法について、スクリレかメールかのどちらかに統一してもらいたい。

- スクリレとメールにはそれぞれのメリットとデメリットがあり、お知らせする内容によって使い分けをしています。しかし、多くの保護者の方から同様のご意見をいただいていることもあり、今後の運用につきまして検討させていただきたいと思います。
- スクリレには指定の広告を閲覧すると、学校にポイントが貯まるという機能があります。貯まったポイントを活用して、児童用図書や教具に交換させていただいたことは学校だよりでお知らせしたところです。本校の貯ポイント累計は市内でもトップで、改めて保護者の皆さまのご協力に感謝申し上げます。今後も貯まったポイントは児童が活用できるものと交換していきたいと思います。ポイントを貯める活動にご理解ご協力いただけますと幸いです。*月初めはたくさんポイントがゲットできます！

(2)スクリレに個別に削除できる機能を付けてほしいです。

- スクリレは市内全小中学校で使用しています。
- 現在使用しているスクリレには、必要な文書を残しておく「お気に入り」機能はありますが、必要のない文書を消す「削除」機能は備えていません。
- 本要望について市教育委員会に問い合わせたところ、市教育委員会からスクリレ運営会社へ削除機能追加の要望をあげておきますとの回答をいただいています。

(3)個人面談について、実施回数を増やしてもらいたい。

- 個人面談の実施回数を増やすことで、決められた授業時数の確保が難しいため現状は年間で1回の実施としています。しかし、個人面談で話題になったことに対するその後の児童の変化を聞く機会が少ないというご意見もあります。その方は、知りたいなら学校に電話をして聞くこともできますが…とも言っていますが、直接お会いしてお話できる機会があった方がより良いと考えられます。
- また、来年度からは前期の通知表には各教科の評定のみの記載になり、児童の様子を保護者の方へ伝える機会が少なくなります。
- 授業時数の確保や保護者の方とのコミュニケーションのバランスを考えながら、個人面談の回数につきましては検討させていただきます。

(4)校内のプールだけでは児童数増加のため、実施回数の減少により十分に指導ができないのではないかと。

- プール学習につきましては、令和8年度から5年生と6年生がゴールドジム千葉ニュータウンジョイフルアスレティッククラブのプールを利用して実施することになり、インストラクターに指導していただけることになりました。全校児童とまではいきませんが、十分な指導内容と回数になると思われます。水着への着替えは学校で済ませ、バスで移動することになります。また、他の学校との兼ね合いもあり実施

期間が例年よりも遅くなってしまう可能性もあります。

- 学校以外の施設を利用する学年があることで、残りの学年は校内の施設を余裕をもって使用することができますので、そちらも十分な指導内容と回数になると考えられます。

(5)運動会やコンサート、授業参観や学級懇談会での保護者の方の態度が気になります。また、校外学習や修学旅行の実施時期を考えてもらいたい。

- 過大規模校として行事の実施方法には、毎回頭を悩ませています。せっかく実施するのであれば、多くの保護者にお子さんの成長した姿を見ることができるようになりたいと考えています。また、児童数が多いため周辺の小学校では普通にできていることもできていないのが現状です。特に修学旅行は、宿泊先の受け入れ規模や児童の安全面を考えると、修学旅行のハイシーズンでの実施は難しく12月の実施になってしまいます。
- また、運動会やコンサートの観覧席につきましても、毎回思慮しているところではあります。児童数に比ベグラウンドは狭く、保護者の方の参観場所も確保しなければならない。それが難しいのなら、2部制にしてはどうだろう。2部制にした場合、午前と午後の実施になる。そうすると、兄弟姉妹がいる家庭は1日の観覧になることも考えられる。その場合、ひとりが運動会に参加している間、もうひとりはどうのように家で過ごすのだろう。安全面やご家庭の負担はどうなるのだろう。答えのない問題を解いている気分になります。
- その中で、その年で BEST ではないけれど BETTER な運営方法を考えています。
- 保護者の方にはご理解をいただき、行事運営にご協力いただけたらと思います。みなさんが気持ち良く観覧できるように、今こそ学校と家庭と地域が手を取り合って協力していくときだと考えます。

(6)学校の門が開放され、誰でも侵入できるようになっているのは心配になります。

- 校門は登校完了(7時55分)から始業(8時00分)を目安に、職員が毎日閉めています。また、課業時間内に門が開いていた場合は、気付いた職員が閉めるようにしております。
- 一方で開いていることに気がつかず、開放された状態になっていることがないわけではありません。
- 各門には「児童の安全確保のため、門のあけしめにご協力ください。」という看板を付け、来校される方にはご協力をお願いしているところですが、児童の在校時間に門が開いていることに気付かれた際には、閉めていただけますと幸いです。

終わりに

今年度も本アンケートへご協力いただきありがとうございます。児童にとってより安全で安心して有意義な学校生活を送ることができるよう改善を図る上で、本アンケートのご意見・ご要望はとても貴重な手掛かりとなっております。常日頃から保護者の方々の立場を考慮しながら学校経営にあたっているつもりではありますが、目配り・気配り・心配りが行き届かない点を本アンケートによって指し示していただき、自身の学校経営の羅針盤となっています。

「たくさんのことを学んで家に帰ってきます。」「家では学校が楽しいと言っています。」「児童数が多いですが、いろいろと工夫をしてくださりありがとうございます。」「先生が休み時間一緒に遊んでくれることが嬉しいようです。」「校外学習などたくさんの経験をさせていただき感謝しております。」「子どもたちのやる気をさまざまな方向から引き出していただきありがとうございます。」「子どもの様子を知る機会をたくさん作ってくれ、開かれた学校のイメージがあります。」「準備や運営が大変だと思いますが、先生がいつも笑

顔で指導してくださり素敵です。」「学年問わず、子どもたちが積極的に挨拶をしてくれ、とても清々しく感じます。」「友達のいいところを伝える時間があるそうですが、とてもいいことだと思います。」「マラソン記録会では遅いなりに記録を更新することができました。応援でも頑張る子どもたちの姿が印象的でした。」「子どもたちのために環境を整えることは先生方と協力してやっていきたいです。ボランティアなど募集してください。」「円滑に先生が補充されないなかで、先生方のご尽力にはいつも頭が下がる思いでいます。」

今回のアンケートにおきましても多くの感謝や労いのお言葉をいただきました。学校や職員にとっては次への活力となり、子どもたちと向き合うエネルギーになります。今後も数年は児童数増加に伴うさまざまな変化や変更が予想されます。現状に甘んじることなく、目の前の子どもたちの将来を見据え、今できること、今だからこそできること、今しかできないことに挑戦していこうと思います。

(文責:校長 寺島光浩)